

1. 基礎情報

所属自治体名	鳥栖市
氏名	しもかわ ゆみ 下川 有美
現所属部署名	市民環境部市民課
電話番号	0942-85-3581
役職	課長補佐兼市民係長



病院体験

在留外国人数		令和6年1月現在		1,909		人	住民基本台帳人口に占める割合		2.6		%	
うち、 <u>国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名</u>				1位 (ネパール)	716	人	2位 (ベトナム)	517	人	3位 (中国)	169	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援
小分類	日本語教育の推進
具体的な取組内容	取組のポイント 生活するうえで必要な日本語や生活のルール、文化、風習などについて学ぶ場として日本語教育事業を実施 月1回程度、日曜日の午前中に鳥栖市役所で開催しています。毎回、市の職員、コーディネーター、にほんごパートナー（日本人ボランティア）が一緒に実施しています。毎回、テーマを変え、1回完結型で実施しています。市の主催で実施しており、参加費は無料です。鳥栖市に住む18歳以上の外国人で、日本語学校の学生以外は参加可能です。教室の中では、日本人と外国人が「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションをとりながら、テーマの内容や日本語を学んでいます。 これまでに取り上げたテーマの内容は、自転車のルール、ゴミの出し方、消防署見学、餅つき、書道、病院の受診方法等です。テーマによっては、地域の行事に参加したり、市の担当課や消防署・警察署の職員に説明をお願いし、色々な参加者や場所で実施しています。 外国人学習者は、技能実習生、日本人の配偶者等、色々な在留資格の方が参加し、国籍もベトナム、中国、フィリピン、アメリカ、インドネシアなど様々な国籍の方が参加しています。
大分類	意識啓発と社会参画支援
小分類	多文化共生の意識啓発・醸成
具体的な取組内容	取組のポイント やさしい日本語を軸とした多文化共生事業を実施 鳥栖市に住む外国人が住民に占める比率は、県内1位です。市内に2つの日本語学校、日本語学校を卒業した外国人が進学するための専門学校が1つあり、その他にも外国人を雇用する企業が多くあります。そのため、外国人と日本人の共生、相互理解は、重要な施策の1つです。 そのコミュニケーションの手段として有効なのが、「やさしい日本語」です。鳥栖市は、在留資格は留学生や技能実習生等が多く、国籍はアジア圏の人が多いため、使用する言語としては英語より、「やさしい日本語」の方がより通じやすく、有効な手段です。 日本人に「やさしい日本語」を周知するため、市報に2ヶ月に1回「やさしい日本語クイズ」を出しています。また、HPに「がいこくじん」という専用のボタンを作り、「やさしい日本語」で外国人に対して、市の情報を発信しています。さらに、通常のHPの記事の頁にも「やさしい日本語」の翻訳ボタンを付けて、「やさしい日本語」に変換できるようにしています。 その他にも市民向けの出前講座に「やさしい日本語」をメニューに加えて実施しています。市主催の日本語教室の中でも日本人のボランティアと外国人とのコミュニケーションの手段として「やさしい日本語」を使ってもらったりして、「やさしい日本語」を周知しています。年1回の市の職員研修においても、窓口担当職員に対し「やさしい日本語」の研修を実施しています。